明治廿六年十一月二日印刷
明治廿六年十一月三日發行

婦人衛生雜誌

第四拾八號

私立
大日本婦人衛生會

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

日本婦人衛生雜誌
第四拾八號
目次

講演

◉色素の利害衛生上の注意　醫學士　山根正次君

寄書

◉婦人須知（前號の續）○產婦の產褥に在る日數○惡露○海綿○產室の空氣流通○產婦の食物○健康なる小兒の保育○流產○強壯なる嬰兒○尿と大便○臍帶○呼吸及脉○乳齒二十個の發育する順序○廣疽　醫學士　賀古鶴所君

◉浴場行日誌（前號の續）　醫學博士　佐々木政吉君

衛生叢談

◉ヘーデン氏の衛生家屋
◉近視眼の原因
◉血ある林檎
◉日本人の齒と歐洲人の齒
◉養生十戒
◉美人と運動
◉二年間の睡眠
◉肺病患者と年齢の統計
◉不衛生と不經濟
◉醫師と死亡人との割合
◉六種傳染病景況
◉恐るべき流行病
◉赤痢◉傳染病患者
◉諸會の景況◉廣告數件

日本婦人衛生雜誌
第四拾七號
目次

講演

◉室内の空氣に付て　醫學博士　緒方正規君

寄書

◉婦人須知（前号の續）○乳母の撰び方○乳母に要する注意○乳母の營養法○哺乳時間　醫學士　賀古鶴所君

◉浴場行日誌（前號の續）　醫學博士　佐々木政吉君

衛生叢談

◉鰻の骨と肺病◉喫烟學生と非喫學生の身体◉虎列剌病毒に關する大發明◉バクテリヤの導体◉人命の長短◉長命なる老嫗◉接吻の危險◉一生涯の消費宮崎縣と山梨縣のヂストマ◉印度の發狂者◉愛蘭土の狂人九十余名の中毒◉絶食者◉奇兒各地赤痢病の猖獗◉よい醫者の迷惑◉津市の景况◉赤痢費◉壹岐の赤痢◉赤痢患者の變死◉赤痢の心得◉諸會景況◉東京市內小兒科醫の栞◉窒扶私◉廣告數件

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人衛生雜誌第四拾八號（明治二十六年十一月三日發行）

講演

色素の利害衛生上の注意（六月十日婦人衛生會例會ニ於テ）

醫學士　山根正次君演說

私は山根正次と申す者でございます。今日此貴婦人方の衛生會に出まして、御話しを致しまするのは、私の最も光榮とする所でございます。併しながら私は貴婦人方の前に於て、演說を致しまするのは、漸く今日が二度目で御座います。去る明治十八年の頃、長崎に居りまする時に、恰も虎列刺の流行の時でございましたから「水」といふ事に就て、御咄しを致しましたのと、今日此席で御話し致しまするのと、即ち二度目でございます、而して此衛生上の演說に就ては、私は大日本私立衛生會、或は小學校に於て、生徒の衛生に就て御咄しを致し、其他諸處に於て演說を致しましたが、去る三月の初めに本會の役員方の御依賴に因て、出るつもりで居りました所が、生憎旅をしなければならぬ用事が出來、殘念ながら御斷りを致しました、又四月の初めに北澤さんの奥樣の御代りに、北澤さんが御出でになつて「何か咄しをして呉れないかと」云ふ御依賴でございましたが、又其節は折惡しくも、醫術試驗の當日で、已むを得ず御斷りをいたし、漸々延びて今日に至りました次第でございますが、度々御斷りを致したは誠に遺憾でありました、全体私は衛生上の御咄しを致すは私の身に取て最も光榮とするのみならず自分から進んでも致したいと云ふ考へを常に持て居ります。併しながら、本會の皆樣方は、諸博士方より衛生上有益の御話しを度々御聽きになられます事ゆ

色素の利害衛生上の注意

へ、私の樣な不學で其上訥辨者が御話しを致しても差して御注意を惹く事は無からうと思ひます。併しながら私も日々局に當て職を奉じて居りまする事故、耳に聽き又眼に見て、日々經驗する事が澤山にあります。デ今日は別段に演題を御報知も致しませんでしたが、唯豫て私の考へて居りまするのを出鱈目に御話しを致します。貴婦人方の前で御坐いますから、言葉は成るたけ謹みまする積りで御座いますが、衛生上の事は惡いことを言はなければ、善い事も言はれないから、時として無禮の辞になる事があるかも知れません故に此事は前以て御斷りを申上げて置きます。

ソコで私はドンな事を御話し申しまするかと云ふに、後に飯盛さんが衣服の事に就て御咄しをなさるそうで御座いますが、私の御話しは衣服の良い惡いとか云ふ事ではなくして、衣服を染める色素の事、ソレから小兒が鼻汁を出す事、又日本人が小兒を脊負ふ事、帽子の事等を御話しを致し、ソコで一寸皆樣に御煙草を差し上げ、白粉を一包づヽ獻上致し次に下婢の御土產に私共が日々撿査致して居りまする鍋を差上げる積りでありますからどうか、暫くの間御淸聽を願ひます。

先づ第一に、小兒の衣服は色の物が宜いか、無色の物が宜いかと云ふに、一体色素の中には、隨分有毒の物が有ります。若しも此毒を含んで居る所の色素で染めたる衣服を、小兒の襦袢、或は涎掛等に用ると、小兒は着物涎掛を舐りまするし、或は汗其他いろ〳〵の事にて、着物が濕りますが、此有毒の色素にて染めたる衣服を舐り、或は皮膚に浸み込みましても害の無いものであらうか如何であらうかと云ふに小兒が有毒の色素を舐ッた爲めに、腸胃の加荅兒を起し、或は皮膚が色素の爲めに冒されて刺激を起

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

し、痛む事などが有りまして、其他にも色物は随分澤山の害になる事が有りますが、其原因は平日はなか〳〵解らない、鳥渡例を擧げれば、今下婢に白い前垂と黒い前垂とを與へらるゝと、白い物は汚れ目が見えて、すぐ穢くなる。ソレに反して黒い物は穢れ目が見えない、併し何方も垢の附くは同し事でございます、又下婢が白地の浴衣と黒い着物とを持て居りますれば、白地の物は汚れ目が見えます、からザブ〳〵と能く洗ひますが、黒い飛白の着物でゞもあると、幾ら汚れても、左程目立ちませぬから、容易に是れを洗ひませぬ、則ち白い物は汚れ目が見えます故、人々が能く注意して清潔にする様になります、然らば小兒の衣服には白い物を用ゐなければならぬ、殊に小兒は大人と違ッて、汚れることが酷うございますから、成るべく白い物を用ゐるやうにしなければなりませぬ、黒い物は不潔だと云ふ事に就ては一の御話しが有ります、私が一昨年中歐洲より歸りました當座、鎌倉地方を旅行した事がありました、其時に非常に困難をしたことが有ります。ソレハ何であるかと云ふに即ち夜着の襟に不潔なる天鵞絨の襟が掛ッて居ッたので、是れには實に困却致しました、此天鵞絨の襟に就ては、曾て衛生會に於て二時間有余の長演説を致しましたが、實に天鵞絨の襟は毒物が附き易い、又常に天鵞絨の襟は清潔を忘るゝ所のものである、私は日本で用ゐて居る天鵞絨の襟は有害の物と思ひます、之を例を宿屋に引いて見ますれば、毎日さま〳〵の人が泊り込ますので、此夜着を掛けて休みますが、たま〳〵泊る中には定めて病人も御座いませう、或は其中には肺の惡い人抔も御座いませう、其人々が呼吸若しくは咳、痰等に因て、病毒を襟に傳へて、一夜の中に彼の恐るべき「バチルス」を傳へて置くと、客は日々代るのでご

色素の利害衛生上の注意

ざいますからソレらかソレへと段々に病毒を傳へて後には多くの人も肺患になるやうな不幸が御座います、又此天鵝絨の襟は塵、垢等を吸収して仕舞ひまして、汚れ目が目立ちませぬから人が能く洗ひませぬ、斯くの如く天鵝絨の襟は穢いものでございますが、此天鵝絨のみに依らず總て黒い物は清潔を忘れるもので御座います、歐洲抔では此寝道具には最も注意して蒲團とか、或は毛布の上には白い布を敷くとか、(勿論毛布も多く白い物を用ゐます) 總べて彼方では何に依らず、白い物を好んで用ゐますが、日本では歐羅巴とはまるで反對で有りまする、歐洲では御存しの通り、小兒の衣服其外附帶品には、多く白色の物を附けますが、我國では白い色の物を附けるは概して之を嫌ひます。なぜかと云ふに、白い物を附けると葬式の時のやうな心持ちがするといふ、所謂一種御幣擔ぎと云ふ樣な所から、白い物は嫌ひだと云ふので御坐いますが、今日文明の時に當て決して斯くの如き慣習に頓着する事はなからうと思ひます、苟も衛生に利益ある事なれば、益々改良して往かなければならぬ事で御座いませう、左りながら茲に入らせられまする、貴婦人方は、是等の事は疾くに御承知のことでもあり、今日に於ては既に成るべく白い物を御用ゐなさるやうに、御注意なすつて居らるゝことゝ考へて居ります。衣服の事は後から澤山に出ますから、委しい事は申上げませぬ。

ソレから私は蠟筆の事に就て、少しく御注意申上げて置きたいことがあります。此頃小學校の小供が書を書く時に蠟筆を用ゐます。此蠟筆の色素に就て御咄しを致します、蠟筆には青とか黄とか、いろ〳〵の色素を以て染めて有りますが、此蠟筆の中には非常の毒物を含んで居ります。此頃檢査の爲めに近處

の正直堂と云ふ店商から取り寄せました品も、警視廳で取り寄せました品も、共に撿査致しました所が、何れも毒を含んで居ります。其毒とは何であるかと云ふに、鼠捕薬抔に含んで居る礜石と云ふ毒物が這入ッて居る、ソレ故是れは警察より發賣を差止める事になりました、今日もいろ〳〵蠟筆（實物を示さる）を持て參りましたが、此中には皆毒物を含んで居ります、是れまで御子供さん方は之を用ゐて居られましたので、而して子供が之を用る時には、甜ッて書かないと、附きが惡う御座いますから、必ず之を甜ります。ソレが大變に害に爲ります事故、是れには毒が這入て居るから、甜ッてはならぬと云ふ事を御氣を御附けなさらなければならぬ。是れには砒石乃ち礜石抔の恐ろしい毒が這入て居りまするから、發賣を差止められました、又斯う云ふ事の取り締りは警視廳に於て、私共が局に當り、一々撿査して、賣り捌せぬやうに務めては居りますが、ソレでも尚は有毒の物をなんでも思はず賣り捌いて居りますから、深く御注意なさらなければならぬ。序でに有害の色物に就て、御咄し致しますが、小兒の玩弄物に甜り子と云ふものがありますが、是等の玩弄物は皆色素を以て染めて有ります。ソレをいろ〳〵警視廳に於て調べた事があります。……一体小兒の玩弄物は、色素を用る事に極まつて居る。ソレで此（玩弄物を示さる）黄色の染ッて居る御手遊は、小兒が甜りますと中毒するとがあります、乃ち此黄色々素は毒物で硫化砒素といふものであります。又此笛の（木細工にて笛の附きたる赤、紫にて染めたるもの）附いて居る御手遊の赤色の所は、アニリン色素で有ります、斯樣に色素には毒の物が多う御座いますが、併し美しい物は小兒が喜びますから、商賣人は濫りに有毒の色素なるも頓着せず用ゐるので御

座います。又此獅子（實物を示さる）の手遊は、亞砒酸銅と云ッて非常に恐るべき毒物、又此中の赤色の所は鉛丹と云ッて鉛の這入ッた毒物で色を附けて有る。其外にも斯樣（土燒の人形）な人形等に至るまで、警視廳に買ひ上げて、一々毒の有るか無きかを檢査するので有ります。其他色物に就て最も恐れ、且つ注意しなければならぬのは、食物に有毒の色素の附きたるもので有ります。殊に子供の好む所の立派なる御菓子の中に大變に毒物が這入ッて居る。ソレ故着色したる御菓子は成るたけ御子供さんに御上げなさらぬやうにしなければならぬ、私共職務の上に於て、衛生上嚴密に取調べて居りますが、尚は後から〳〵と發賣になりまする事故、取調べが洩れて居りまするから、先づ今日の所では色の附かぬ御菓子、美しき色の附かぬ玩具を用ゐらるゝ樣に願ひます。

ソレから私は、子供の鼻汁を出す事、小兒の鼻加答兒に就て、御咄しを致します。日本の子供は兎角鼻汁を垂れて街道に遊んで居ります。是れは外を歩きまするど、往々見受けますが、蓋し是れは敎育不完全の結果で、畢竟親たる者の不注意より起る事と思ひます。今後何卒此には注意を致したいと思ひます。貴婦人方の前で甚だ失禮でございますが、下等社會の母親の仕打ちを見まするど、鼻をかむと云ふよりは、寧ろ鼻汁を吸り込むと云ふ風習が有ります。ソレを子供が見習ふて、眞似を爲し、恰も春日の慰みの如く、青い太い鼻汁を出したり吸ッたりして、實に其体裁は一見嘔吐を催すばかりであります。偶々拭ひ取れば袖にて横なでをいたします故袖口の處はきら〳〵ひかつて居ります。併しながらこれは、其子の罪に非ずして、抑親の誡めが惡い爲めであります而して鼻汁の出るのは鼻の加答兒があるからであり

ます、加答兒と云ふ言葉は希臘の言語でありまして、別に六ケ敷い事では無い、流れると云ふ意味で御座います、前に申す通り無教育の結果とは申しながら、ドウして斯様な病が起るかと云ふに、一体日本の衣服が不完全であると思ふ、日本の衣服は恰も行燈を着たやうに下から風が這入ッて、身體の温度を平均に保つ事は出來ない、足袋は穿いても、ズボンと云ふものを穿きませぬから、腰から下は毎でも冷へて居る。ソレから又下等社會を見ますると、寒風肌を裂く時でも、子供に小用をさせるに、襁褓を卷くッて爲します、然るに子供の皮膚と云ふものは非常に薄弱のもので有りまするから少しの寒冷に遇ふてすら、冒され易いので有りまするに、斯様な慘酷の事を致してはたまりませぬ、或は又日本の厠の制が惡い、寒い時に日本風の厠に長く這入ッて居りますると、腰から下部は冷へ切ッて仕舞ひます。歐羅巴抔では日本の様に不完全に出來ては居りません。つまり是等抔が小兒鼻加答兒の原因と思ひます。又此鼻加答兒の爲に鼻汁が流れると濕疹が鼻の邊に出きて來るやうになります。ソレ故幼小の時より余りからだは冷し温度の平均を欠くやうな事もせず、又鼻汁も能く取てやるやうに注意しなければならぬ。ソして此鼻汁を取るには、布片若しくはハンカチーフを以て取るやうに習慣か付けたいものであります。

ソレから私は、子を背負ふ事に就て申上げます。子を背負ふ事は好いことで御座いませうか、……皆様は何と思召しませう、私は子供を背負ふ事は、衛生上又体裁上惡いと言はなければならぬと思ひますなぜなれば、彼の小兒の身體と云ふものは、重き服を附けたのみでも、發育を妨げらるゝものであります。然るに着物を着せて其上に、小兒を脊の上に置いて、其上にドテラを懸け、帶を縛めると、將に

發育せんとして居る、薄弱なる胸部を縛め附けられて居るから、胸部發育を妨げられます。其他に最も害の有るは、子を負ふ子護り女の頭髮の臭ひは余り好いものでもないと思ひます、年の少ないものは、後から手拭にて卷き上げて居りますが、年齡の多いものは、そんな事も致しませぬ。併し是れも下等社會では余り氣にも止めぬ樣で有ります。此惡臭を嗅ひて居るのみですら、發育上に就て良い事は決して御座いません、併しなから是れは下等社會の御話しで貴婦人方の御頭は好い臭ひがして、惡い嗅ひ抔は少しも致しませぬグこれも序でゆへ烏渡申して置いたので有ります。

次に帽子の事に就ては、衛生會並に諸學校に於ても御咄しを致しましたし、又皆樣も已に御聽きになつたらうと思ふ。私は婦人方でも此帽子を御被ぶりなさる必要が有るだらうと思ひます。一体何れの國でも、文明國と野蠻國とを問はず、帽子を頭に戴いて居る、日本でも彼の國の開化が這入ッて來るに從ッて、男子殊に學生に於ては帽子を被ぶらぬものは無い樣になりました。なんにも被らないで、炎天を歩くは、甚だ身體の健康上に宜しく無い事と思ふ。故に私は、本部の婦人にも、島田髷、天神髷、杏蝶返し肩はづし丸髷の上に帽子を御被ぶりなさいと云ふは無理ですが、併しながらせめては束髮の御孃樣方は　炎天を御歩いなさる時は、帽子を御用ゐになりましたなら、如何で御座いませう……女が和服の上に帽子を被ふるは、外形上可笑しいやうにも思はれますが、其始め男子が洋服を着て帽子を被ふるは當り前で御座いますが、羽織袴、或は着流しに帽子を被ぶるは、誠に可笑しい事のやうにも思ひましたが、却へ近來は帽子を被らぬのが可笑しい樣な感情に移ッて參りました。束髮の御孃樣方も、好い

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

恰好の帽子を撰んで御被ぶりなすッて、ソレが漸々社會に擴がりましたならば少しも可笑しい事はなからうと思ひます、帽子を被るはなんで宜いのかと云ふに頭部の温度を平均に保ッて、温度に激變が無い。ソレから又夏季炎天に曝されても、帽子の爲めに暑を防ぐ事が出きる。又日に燒けるをも防ぐ事が出來ます。殊に小兒には別して帽子が要用で有ります。日中小さい子供が背の上で、日に曝されて居るは、實に慘酷の次第で御座います。ソレだから夏になれば、脳膜炎、脳充血杯か起る理由であります、炎天に頭脳を曝されると、脳充血、脳膜炎即ち日射病に罹ッて引き付て死んでしもう樣になります、實に恐る可き事で御座います。ソレを普通の人はよくも解らずして、唯虫が起ッたと思ふて居るので有ります。實に衛生生理學上に於ても、帽子を被ぶるは至極良い事と思ひます。是れで大分御咄しも致しましたし、

余り長くなりましたから、茲で御煙草の御話しを一服獻上致しませう。山根正次の獻じまする御煙草を何卒御吸ひ下さい……………否御聽き取り下されたい

煙草を吸ひ始めた事は、此雜誌（庚寅新誌）に私の演説か委して載ッて居りまするから、これに就て長い御話しは致しませぬ。其代りに此雜誌を一部づゝ獻上致します。此煙草の事に就ては、これまで諸處に於て度々御咄しを致しましたが、今日も一通り御咄しを致します。

抑煙草なるものは、古へ野蠻人民の吸ッたもので、開化の人民は吸ひませぬ。則ち有名なるコロンブスが大西洋を横切て亞米利加を發見した時に歐羅巴に此煙草を持つて歸り此煙草を吸ひ始めた、其喫煙の惡習と云ふものが、開化の人民に感染して來たので、日本には小學讀本にも有る通り慶長年間に長崎に

色素の利害衛生上の注意

於て作ッたのが、煙草の嚆矢で御座います。其種を持て來たものは、葡萄牙人、或は西班牙人で有らうと考へます。其煙草の有害に就ては、皆樣既に御承知と思ひますから、委しくは申しませぬ。私共も以前は吸いましたけれども煙草を吸ふと喉が痛み咳が出まするから、此節は一服も吸ひませぬやうになりました。サウしますると、喉の惡かつたのも忽ちに快くなりました、煙草は少しも害でないと云ふ人が有りますが、幾ら平日好きな方でも、少し熱が出て氣分の惡い時には少しも吸へない、ソレが即ち毒の證據で有ります。又余り澤山吸ふと頭痛がするとか、眩暈が起るとか云ふ樣になる。ソレ故私は斷然煙草を御吸ひなさる事は御廢めなさいと、サウ酷なる事は申しませぬが、せめては其量を減らさるゝものならば、余計に吸はぬやうにするが宜しう御座います。デ私は外國に長く居りましたが、彼の國の婦人抔の煙草を吸ふのは容易に見た事はありませぬ。併しながら下等社會の者に至ては、隱れて吸ふと云ふ樣な事が有ります。日本でも、昔しは男子と雖も元服前は煙草を吸ふことは出來ない。元服の時に即ち十五歲になつて、始めて吸ふ事を許されるのでありました。ソレまでは近隣の制裁、父兄の誡めも嚴でございましたから、子供で煙草を吸ふ者抔は有りません。然るに今日では、世間の制裁か寛かに爲り親たるものゝ誡めも忽せになつて遇々人の咎むるをもなんとも思ひませぬ。夫故に此煙草に就ては番町及び麴町學校の生徒にも演說致しましたが、近來は一般に煙草を吸ふ事が甚だしくなッて、七、八歲の子供等に至るまで煙草を吹かしながら市中を歩るいて居る然るに之を訓誡なさる先生方が煙草を吸はるゝやうな譯では仕方が無いが、是非此弊風を一洗するやうに互に務めなければならぬと云ふ趣意を先

生方にも演說致し、且つ又生徒の前でも、煙草の有毒なる事を演說した事が有ります。ソレから又或時に某家の子供が喉が惡くッて、私も醫者の端くれで御座いますから、療治を頼まれて居りましたが、ドウしても癒りません。其子の母親さんも、段々御治療を戴きますが、喉が少しも癒りませぬと云はるゝので、成程どうも癒りませぬ、併し又よく見て上げませうといつて、胴を開けると中から卷煙草の箱が出て、中には「オールドゴールド」が詰ッて居ッた。デ私がこれはドウしたので有りますかと問ふと、母親の言ふにドウも此子は煙草が好きで仕方がありませぬ、何某の坊ちやんも煙草を御吸ひなさるから買ッて吳れと頼みましたから買ッて與れましたとの事故、ソコで私も喉の治療をなされながら、煙草を召上るやうでは迚も療りませぬからといふて、斷然御斷りを致しました。スルとソコで其母親さんも御子さんも此後は必ず煙草を止めると云ふ事を誓はれましたから、續いて治療を施す様になりましたが、其後は喉もずん〳〵とよくなりました。又此近傍の某男爵の御子さんで、華族學校に通はるゝ御子さんは、實に煙草が好きで、親が嚴重に禁煙せらるゝにも拘らず、內々で澤山の煙草を吸はるゝので、遂に其結果は腦充血を惹起して、將に斃れんとするやうになりました。其一二の例に止まらず、小學校の生徒が皆烟草を吸ふ様になりましたが、是れは非常に身體の害になりますから、何卒此点には以來御注意を惹きたいと思ひます。單り身体に害を及ぼすのみならず、經濟上にも大害が有ります。然るに此利なくして害多き烟草を作る爲めには、肥沃の土地を要します。シテ見ると實に國家の不利益に容易ならぬ事でまた、其外にも警視廳で調べた統計表に依れば、明治廿三年にて烟草より出でたる火事が五十三度燒け

た戸數が千〇六十六戸〇二十八年は、三十九度で、百四十六戸燒失しました。廿五年には三十三度、燒失戸數八十七戸。本年は一月中に烟草の爲めに出火したのが七度で二百六戸燒失し二月が五度で燒失十三戸、實に一服の吹売からして、多くの人に迷惑を懸け不幸に陷いれる次第でございます。其他原因の解らぬ火事が澤山にありますが、多くは煙草の吹売から出たのであるとか申す事です東京では屋並が込んで居りますから、屋根の乾いて居る時は、僅か煙草の吹売一ッでも大きな火事に爲りますので、實に恐ろしい事であります。煙草の御話しは是れで止めて先程御約束の下婢へ土産に三德鍋を差上げます。此頃市中に賣て居る三德鍋は化學上の言葉で琺瑯鍋と云ふ。なせ之を三德といつたかと云ふに、鐵氣が無いのと沸騰のが早いのと、價が廉いとで三德鍋と申すのださうで御座いますが、是れは大きな間違ひで。甚だ驚き入ッた事で有ります。是れが爲め身體の健康上非常に害が有る、三德鍋と云ふよりは寧ろ百損鍋とでも呼ぶが適當だらうと思ひます。此（通常の鍋を示し）れは多く世の中に用ゐて居る三德鍋と申すので御座います。斯くの如く鍋杯も多く集めて、警視廳で取り締り規則が出來る最中で、今鍋の撿査をして居る所であります。此鍋（鍋を示さる）の中には毒物が這入ッて居る、是れには亞砒酸乃ち礜石が這入ッて居る此礜石と云ふは鼠捕藥などに這入ッて居る毒藥て、之を鼠が甜めると死にます。人間も是れを飲むと虎列剌病の如き急激の狀を起して死にます。ソレ故斯う云ふ鍋は用ゐないやうに下婢へ御申付けを願ひます此（鍋を示さる）れも實に恐ろしき毒物の砒石を含んで居る。ソして其上に鉛を敷きます。なせ鉛を交せますと云ふに、鉛を敷く時に鉛が交れば早く熱に逢て熔融するやうになりま

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

す。ソウすると錫が敷かれ易いもので有りますから之を用ゐたので有ります。其他通常の土鍋でも少しづゝは鉛を含んで居る。之で醤油酢抔を煮ますると、大變に鉛が出て參ります。ソレで兎角鍋には非常に恐ろしいものが有りますから、御氣を附けなさるやうに鍋の種類を御咄しして置きます警視廳で撿査の爲めに買ひ上げた鍋は百有余種有りますが、其中試驗をしたのは是（鍋を三十斗示す）れ丈けで有ります。是れはドウゾ御覽置きを願ひます。土鍋の中にも澤山に種類が有りますが、斯（土鍋を示さる）う云ふ燒き方のものは遣ッては惡い。此黑いのは鉛かはいつて居ります。是れで物を煮ると眞黑になり硫化水素に逢ふて眞黑になります、實に手に附く程に黑くなります。外のユキヒラは皆左程の事は有りませぬ、只今申上げた此（鍋を示さる）の鍋は何卒御忘れなく御見覺ゐを願ひます。土鍋の光澤のある分です。

ソレで今下婢へお土產の鍋の御話しも濟みましたから、今度は白粉をほんとうに差上げます。併し品が足りませぬから皆樣に渡るか渡らぬか知れませぬ。白粉の事は皆樣疾くに御存知で御座いませう、白粉の毒に就ては榊博士か本會に於ても、演說されましたが、私は皆樣が白粉を御附けなさる事に就て御注意を申上けますが、白粉は是れ〳〵だから惡いと云ふ事は衛生會雜誌にも出て居りまするから申しませぬ。婦人の白粉の附け方はいろ〳〵有ります。一体白粉を附けるのは、己れの顏を美にする爲めに附けるのでありまするから、白粉を附ける事は決して惡いとは云ひませぬ。併しながら白粉の種類を擇んで附けるのが肝要であります。白粉の中には澤山の鉛を含んで居りまするから、成るたけ鉛の少ないものを否鉛を含まぬ方を擇ばなければなりませぬ。鉛の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

毒の事に就ては申しませぬ。日本人の白粉の附け方は歐洲巴人の白粉の附け方とは、違ひまして歐羅巴人の白粉を附けるのは、撒りかけるのであります。然るに日本人の白粉を附けるのは、梅毒患者が水銀劑をすり込む樣に致しますから、白粉の中の鉛が皮膚から這入て、病氣を起します。其病氣はドウ云ふ病氣かと云ふに、佐藤博士が治療せられたる彼の有名なる俳優福助が鉛の中毒に罹ッて。腹が痛み、其他筋に關係を起して、筋の運動を妨けます、福助の如きは、今日では鉛の這入て居る白粉を附けると直ちに病氣を起しますとて而して、無害の白粉を附ける事に賛成して居ります。日本の白粉は、左程に害の有るものであるにも拘らず、婦人ばかり大勢居る所にいつて見ると、已に前の日に附けた白粉が翌日もまだ附いて居る樣な事で、………そんな事をしても、大變に害になります。ソシて或は又白粉燒けを申して、余り白粉を澤山附けた人は、年を取ッてから、顏や頸が黑くなるのか有ります。是れは皆白粉の爲めに起る害であります。ソレ故ドウか白粉を附けるは宜しいが、其洗滌を怠ッては往けない。歐羅巴では白粉を製するのに、嚴重に規則を以て取締ッて居ります。本邦でも追々嚴重にするつもりで調査しては居りますが、充分に監督して白粉に毒の無い樣に致しますまでは、白粉を附けるにしても撒り懸けて置く位ゐにして、何卒摺り込みは御免を蒙りたい、又翌日は能く御洗ひになるやうに願ひ度い。サウ云ふ事は貴婦人方は疾くに御承知で、今殊更に私の喋々を待ちませぬ事を思ひます。

ソレで私は終に臨んで、白粉を一包づゝ獻じます。私は之を御披露の爲めに差上げて呉れと賴まれたのでは有りませぬが、今度無毒の白粉が出來ましたから、ソレを差上げます。此白粉には鉛を少しも含ん

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

で居りませぬから、硫黄の風呂に這入ても、顔か眞黒になるやうな恐れは有りませぬ。此白粉は衛生試驗所に於ても無害と保證して居ります、又福助も保証して居りまして、福助も此白粉ならば、附けても膓の痛むやうの事は無いさうでございます。今専賣特許を願ひ出で丶居るのでございますが、これは京橋新肴町二番地渡邊三吾と云ふ人が、化學上より發明したので御座いますそうです。

此の詰らぬ演説否咄しでも御熱心なる婦人衛生會の方にが御清聽下すッたのは、私の誠に満足に堪ませぬ所であります、又今後も演説者の缺乏の時には私が出て饒舌を致すで御座いませう

寄書

●婦人須知（前號の續）

産婦の産褥に在る日數

醫學士 賀古鶴所君

産後臥褥に在るへき日數は三週間を以て常とす少くとも九日間は産褥に在るへし即ち惡露尙ほ血液を帶ふる間は産褥に在るを良しとす而して初め一兩日間は側臥し第二日乃至四日より時々仰臥し以て臥位を換ふへし食時には上半身を高しく背下に淸淨なる枕或は蒲團を當て身體を支へて半坐の位置に保つへし敷布若くは臥褥を更換するには成るへく身體を搖かさゝるを可とす又强て働作を務む可らず即ち嬰兒を臥床の上へ抱き上け若くは下し或は厠に入りて努力し髮を理し或は結ふ等のとはなす可らず勿論必要なき來訪人には接す可らず大便は産後三日目より毎日通利し小便は少くとも日に二回つゝ通するを要す若し便秘せは醫師に訴ふへし又連夜安眠を得されは治を請ふへし

階段を升降する等の運動は二週間乃至四週間の後ちならされは不可なり平坦なる庭園に逍遙には季節溫暖にして天氣晴朗なるに於ては二週間後には既に可なりと雖も季節寒冷若くは濕惡なるに於ては四乃至六週間の後ちにならされば危險なり産後三ケ月間は良人と臥房を異にすへし

惡露

初め二日間は血液樣にして次に赤色を帶ふること二日第六日乃至八日より膿樣液を下し十四日に至り全く止むを常とす然れども産褥を離るゝと早きに失し或は運動過度飮食不適等より差異を生ず若し十日乃至十二日にして下血未た止まず或は三四日を經て下血轉た甚しきを加ふる者は速に醫師を迎ふへし又産褥を離れし後再ひ惡露に血液を混せは更に臥褥に就きて數日を過すへし若し下腹部に疼痛を覺へ尿利澁滯し便意緊急し陰部に壓重を感せは醫師を迎ふへし

海綿

産婦を洗淨するには決して海綿を用ふ可らず清淨なる布片脫脂綿ガーゼ等を用ひ用後直ちに棄て去るへし

産室の空氣流通

通氣とは新鮮なる空氣を室內に通するを云ふ但し徐く々に流通せしむへし風を生せしむ可らす産室空氣の良否を撿するには先つ室外に出て凡そ十分時間新爽の空氣に接して再ひ産室に入るに濕氣を感し臭氣を帶ふるときは必す通氣すへきものなり即ち一側の窓の上扉を開き若くは扉障の蔭に位せる障子を開き通氣すへし暫くして再ひ閉鎖するに尙臭氣を感せは宜しく其原因を探り室內を淸淨になし再ひ通氣して臭氣の全脫するに至るへし兎に角産室は日々通氣するを良しとす此際産婦は輕暖なる毛布を被むり若し風

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に觸れ不快を感せは清淨なる布を以て風避を調へ窓前に垂れ而して通氣すへし

新鮮なる空氣は常に屋外庭園等より之を通すへし若し然らすして廊下或は隣室と界せる障子を開かは反て腐敗の空氣を通するとなり最も忌避へきは便所庖厨及倉庫等に停滯する空氣とす

又幾回新鮮なる空氣を通するも室内清潔ならされは毫も益なし而して常に臭氣を放つ者は臥褥なるを以て晴日には必す日光に曝らし且つ打敲して能く通氣すへし小兒の衣服も亦た常に乾燥に保つへし又小兒の臥床は室隅等に設く可らす明朗にして新鮮の空氣に富める室に設くへし又搖籃には必す臺を設くへし

産婦の食物

淡泊にして善良なる食物を用ふへしたとひ健康なる婦人と雖とも分娩後には唯ソップ牛乳若くは葛湯を用ひ初め一兩日は牛乳清水砂糖水鷄卵湯等を飲料となし牛肉ソップ粥牛乳等を用ひて米を炊けるもの等を食し三四日に至り犢肉鳩肉牛乳ソップ及雞卵ソップ並に炙牛肉鳩肉雞肉鯛百合煮たる林檎等を食し漸く二週間を經て初めて通常の食物を取るへし而して成るへく肉魚を食し滋養に乏しき不消化物は之を避くへし殊に胡椒芥子及烈酒等を忌む但し葡萄酒に水を和し砂糖を加へて用ゆるは良しとす

病氣等の爲め自ら乳養せさる者は乳房の縮小する迄粗食をなし且つ飲料に注意すへし通常乳房の充張は産後第三日にして二三日間持續する者なり宜しく油を塗り綿花を以て掩ひ擧提て置くへし肉食は乳房縮小してより三日を過きて初むへし

健康なる小兒の保育

定期即ち姙娠後四十週を經て分娩せる嬰兒は通常身の長五十センチメーテル我一尺六寸五分體重三乃至四キログラム即ち六乃至八磅皮膚白色にして全身既

に胎毛を脱し頭部の小顖門稍閉鎖し眉睫毛鮮明にして指の爪堅く其尖延びて指頭を超ゆ

流産

定期に前たちて分娩せる嬰兒は皮膚赤色にして短かき胎毛生して全身を蔽ひ耳軟骨甚た柔軟にして指爪薄く且短く全身の發育概して全からす然れとも三十六週にして分娩せる嬰兒は既に生存するを得又稀には三十二週にして分娩し生存し得る者あり

强壯なる嬰兒

終日睡眠し四時乃至六時間毎に哺乳を求め飽けは即ち睡眠す第二三日よりして哺乳すると漸く頻繁なり

尿と大便

尿は　生後直ちに漏らし日に十四回後ちには十五乃至十六回に至る

大便は　生後十二時間を經て始めて通利し而して生後三日間黑色を帶ひ第四日より黄色に變す

臍帶

四日乃至六日にして落し其痕跡十日乃至十二日間腫脹れ其後に至れは小殘片も亦脫落す若し化膿して臭氣を放たは屢々綳帶を更むへし臍ブルクの條下を看よ

呼吸及脉

睡眠時に於て之を撿するに一分時間に於ける四十六回脉搏百十至なりとす

乳齒二十個の發育する順序は通常左の如し

下中門齒二個　第五月乃至第七月

上門齒四個　第九月乃至第十月

前臼齒四個　第十二月乃至第十五月

下側門齒二個　第十二月乃至第十五月

角齒四個　第十八月乃至第二十四月

後臼齒四個　第三十九乃至第三十六月

又十ヶ月乃至十一ヶ月にして門齒八個を生じ五六歳にして初めて前臼齒成齒と交代を常とす

廣疸

通常分娩後二三日にして發す輕易ならは敢て意に介むに足らす

滿二ヶ月にして嬰兒漸く頭を立て光線を追ふて回顧し三握を初め漸く身體を運動し六ヶ月にして匍匐を初む立步に習ふは區々にゝして一定せす即ち多數の兒に就き之を査するに其五分の一は滿一ヶ年にして立步を初め五分の二は十四ヶ月乃至十五ヶ月五分の一は十六ヶ月乃至十八ヶ月にして最後の五分の一は尙は以後に立步を初むるを知るべし　(以下次號)

●浴場行日誌　(前號の續)

醫學博士　佐々木政吉君

天氣淸朗なり七時寢を出て珈琲を飮むホテルの主人余に與ふるに當地の浴醫ドクトルヘルチヒ氏への紹介狀を以てす即家族の案内にて同氏を訪ふ同氏送るに自著「マリエンバツト」誌を以てす氏曰く遠來万里の貴客の爲に嚮導すへし時に氏未た珈琲を飮ます即曰く甚た禮を欠く乞ふ暫く待れんことをと此間に氏か實驗中なる「マリエンバツト」の溫度を計るの裝置及ドクトル、エーリーニング氏の著なる「プシヒロメーテル」表を示せり氏人に接する極めて懇切なり即氏と共に先つ「クロイツブルンチン」に至る泉は「マリエンバツト」の主泉にして深サ二十二メートルなり之を試むるに頗る炭酸に富み舌少しく刺さるゝか如き感あり且僅かの鹽味を帶ぶ之を瓶詰として年々他方に販賣するの額八十万瓶に及ぶと云ふと「クロイツブルンチン」を去り逍遙園に出つライヒテンベルケル氏の立像あり氏指して曰くライヒテンベルゲルは僧侶なり此地今日の盛を致すものは氏の力與

つて力あるに居る然るに氏細門に在りて奢侈を極め娯樂を悉し終に大なる負債を帶るに至り後流されて配所に卒せりと園を出てゝ舊教寺院の前に出て「マリエンクエルレ」を見る其水面長サ凡九間巾四間位なるへし沸々混々として炭酸瓦斯昇騰す人若し試みに燭を点し泉上二「メーテル」の所に降れは燭忽ち滅す此泉は飲用すると少なしと此遁れんとするの瓦斯を集め管を以て瓦斯浴場に送る瓦斯浴は余か始めて見る所なりヘルチヒ氏の勸めに由り之を試む地上木製の桶を置き桶の下側小管を設け炭酸を通す人若し徐々管口に鼻を向はしむるときは硫氣鼻を衝き且炭酸に依りて忽ち窒息せんとす試しに洋袴の鈕を開くときは下腹忽ち暖を感す此浴は重に神經衰弱の患者に適す彼交接不能の患者も此浴湯に由て癒すると無きにしも非すと云ふ

是よりフエルジナント散歩街を歩しツエチナンド泉に至る之を試むるに炭酸固有の味を呈す「マリエン」泉塩は此泉を蒸發して製するものなりヘルチヒ氏は余を塩製造長に紹介して其場の前にて氏と別る厚く禮辞を述ふ場長即ち我を導きて製造所に至り先つ幾多機關を示し次に泉水を吸上ぐるポンプ泉水を貯ふる所泉水の煮沸せらるゝ所之を蒸氣となす所塩を細粉にする所瓶の洒塲精製塩の乾燥室等に至り一々器械の運轉を説明せり終りに地下の倉に至る結晶塩を藏する所あり見終り再ひ場長と共にフエルヂナント泉に至り單炭酸曹達を重炭酸曹達と爲すの裝置を見ん

裝置は簡なるものなり先ッ天然に昇逃する泉の炭酸氣を集め之を管にて輸送す此管は氣密の硝子箱に通す箱の内には數層の棚を設け此棚の板の上に陶製長方形の盆を置き之に盛るに泉塩を以てす此の如き同一の箱七八を並列し盡く管を以て連通す而して此

箱中には炭酸氣常に通ずるを以て壜中の炭酸曹達は重炭酸曹達となると容易なり而して箱内ある壜の充分に飽和して重炭酸曹達となりたるや否を撿するには「ペチフタリン」試驗藥を用ゆ之にて同所の觀覽を終り少許場長と步す場長說明極めて判然にして而かも懇切なり「粉末マリエン」泉壜一個及「パスチルレン」一個外に製造所の記載一冊を贈る別るゝに際し深く之を謝せり

歸途再びフルチナンド泉街道に出てホテルに歸り一時晝餐を終り直ちに一僕を具して「モール」層に至れり凡そ三十分を隔つべし林間積雪半は融解て道路泥濘を極む松林の中を步す造化の歌人は己に春の來るを告く頻りに妙音を弄す僕に問ふに歌人の名を以てす答へて曰く鶯ありと

（以下次號）

衛生叢談

◉ヘーデン氏の衛生家屋

横濱居留地の山手にありいと靜やかなる處に於てドクトル、ヘーデン氏は衛生家屋を作られたり全部は硝子及鐵材を以て造れり其目的は人をして專ら新らしき空氣を吸ひ入れしめ雨雪を防ぎ寒さ暑さにこらへ地震大風落雷を前以て防がしむる者にして其室をうへ下二部に分ち一は地に併行し他は地の下に入り地の下の室は其大さ地の上の室と同しく光は地の上の室床にはめてある二重硝子の窓より導きたり此しかけによつて能く溫度の昇るを妨け又永く同し溫度を保たしめんが爲めなりと其外か此室には一と條の大なる土管を通して遠き場所に達せしめ絕へず屋の外の空氣とかはらしむ而して其管の口には鋼製の小

さき函を造り綿を充たして空氣をおしこみ及びバクテリヤを除くの用に供せり
又地上の室は四方の壁天井とも總て二重の硝子の板より成りて家の隅に接して塔に似たる一つの小さき室あり中に煖爐を置き又煖爐の内に於て焚火を補ふ空氣は總て一方の口によつて地上の室よりくる故に室内腐敗の空氣は家の外に逃げ去る以前に能くバクテリヤを燒き殺し得るものなり
温かなる日にても又同じ目的を達せんが爲に一つの塔をしかけたり蓋し同じ塔の室は其壁悉く硝子の板あるを以て光りがたやすく入りて内部の空氣を温めるが故別に一つの管を設け此の管によりて上る空氣を塔の外に除き其の代りに地の下の寒く冷へたる空氣を地上の室に導んが爲めあり又空氣の通を減し炭酸及びアンモニヤを除かんが爲め化學的の仕かけを施こし糞や尿及び咯痰等の吐き出したる物は硝石硫酸等を混せて烹直ちに之を酸化せしむべき機具を備へたり其の外か雷を避け風を防くべき機械を置き殊に地震に耐へるが爲め鐵の球と曲りたる鐵の板とを以て柱や隅角に仕かけたり
ヘーデン氏の實驗によれば氏は過くる冬の間にて充分の効果を収めたるが如し即ち此室内の温度は屋の外の温度氷點に下る時と雖も尚は攝氏十五度より二十度の間を昇り降り其空氣は毎二時間を以て能く全量の交換を行ひ得たりと云ふ我等の如き不完全なる家屋に住するものは一日たりとも神を此の如き室に養ひたきものあり

◎近視眼の原因

(一)日本人の住家や學校の教場にて日の光りを室の内に入れることが足らざると又注意の足らぬこと即ち低くして突出したる檐や家に近く高き墻や塀か低くして黒き天井紙をはりたる窓や障子のたぐいは

皆近眼の原となれり
(二)幼年なる生徒や青年なる書生が活潑なる運動を怠るによりて之れがために身体の發達を妨け眼の球の膜部の伸びるより近眼を起す者なれは若し身体のはりあう力を減して眼の内へくぼむにはりあう事が出來る時は眼の球か其原の形を失ふ是れが近視眼の原因にして日本の人は最も多く此原因によりて近眼となるなり
(三)火鉢案火等を用いて不適當にして其上不充分なる温みを取ることが小學校の如きは空氣の通りか宜しからざる爲め身体の具合を弱くして其上はりあう力を減するなり
(四)平たき机は不適當なるが殊に日本風の低き机に眼の見ることと書物と直角を爲さず鈍角を爲したり又之れによりかゝりて頭を垂るゝ故に眼の充血を起し又伸びるに至る者なり
(五)今までの様に字や畫の紛雜なる文字を小形に刷りたる本を讀むに不充分なる光を以てするが爲めに自然に眼を本に近くせしむるに至るなり
社會の文明に赴くに隨ひ視力薄弱のもの増加するや否やの疑ひに就きては西洋にても調査せるか現今文明の人民即ち歐米人民は十五万九千七百三十二人の中の眼の惡しきもの實に其百分の四即百人に四人の割合なるも未開の人民即印度人民にありては四百十八人の内眼の惡しき者は只僅かに三人なりといふ

○血ある林檎

此頃の報知新聞を見るに北亞米利加ニユーハムプシヤー州チエシヤイア郡ニユー、ブリトン村の某し婦人はこの頃第六度目の懷姙の日より林檎をたしみ朝夕の食事の時は其上平生絶へず林檎を食するより其の夫は無駄に堪へずとて屢々戒めしも少しも聞き入れず或時には林檎を得んとして狂氣の如く猛り廻り

しとおりしと既にして月が滿ち紐が解けたるに怪しむ可し其の小供の指には其形か林檎に能く似たる者が附きて居りたりといふ

◎日本人の齒と歐洲人の齒

日本の人の齒と歐州人との齒は何れか堅きかといふに概ね日本人の齒は堅くして優等を占むと其原因を尋ぬるに歐米の人は常に肉食をなし堀井の水を用ゐすして天水等を飮むより自然と石灰質に乏しく爲めに齒は弱くありたるものあるへしと之に反して日本の人は一般に多く野菜を食し肉食之に次ぐといふ有樣にして且飮み水は堀井の水を用ゐるを以て自然石炭質に富み齒の性質をして善良ならしめ齒の堅牢ある位置に於ては上位を占むといへども日本の食物には稍々虧くる所あり一利一害は免れぬものなるか、

◉養生十戒

之れは西洋の或る田舍に行はるゝ養生の十戒ありといふ參考のため之に記す

第一　三度の食事は隨分澤山食ふがよし去りながらこの食事の外は決して間食すべからず

第二　高く天に在り低く地にある物總て一の象をなしたる物を汝の食パン中に混ずべからず

第三　パンはよく燒けたるを食ひよく蒸されたるを食ふべし總て生燒け生煮の食物は最も胃に害をなすものあり

第四　心は常に愉快に持つべしたとい一度は不幸の事に逢ふとも余り無益の悲に沈むべからず凡そ悲嘆ほどその身や心を損ふ物をなきなり

第五　六日間は毎朝よくその身体を拭ひ自らその身を清潔にし七日目にはその妻子は言ふに及ばず下女下男食客に至る迄悉く是を湯に入る可しこれ六日間には男子は殊に汗を出して汚物その皮膚に附着し中に恐しきバクテリヤを生ずれば是れがため造

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

物者は吾々に澤山の水を與へてその價又廉なり

第六　居室及ひ寢室は絶へず前後の戸を開いて充分に空氣の通りを善くすべし空氣は何程多く使用するも一文の價を要せずしてその功能は莫大なり

第七　熱き菓子パンを食すべからず

第八　油煎りの肉を食ふべからず

第九　過度の勞をなしたる後或は之をなさんとする前に於て決して生嚼みの飯を食ふべからず又多分の藥味類を用ふる勿れこれ等は皆胃の大害を醸すべき基なればなり

第十　適ま隣人の家に遊ぶことあるも決して夜更しすべからず別して其家の妻女或は下婢等と「カルタ」遊びに耽るは堅く制すべきなり長き話は先方の迷惑は措て當人の身体に取り甚だ害あれば夜は成る丈け早く寢ね朝は太陽と共に起て働く可し右の條々堅く守る者はその身一生健康にしてこの樂しき國土に長く生存することを得べし

◉美人と運動

我邦にては凡そ女子たるものは裁縫を心得食物調理其他の暇には糸針を持つ習慣なるが女子が室内即ち深窓に居ることの多きは一年中實に多時なりと云べし而して之れが爲め運動に乏しきは免れざる所なれども秋日天晴るゝの日は宜しく戸外に出で野外の散策等試みらるべし余り家事及裁縫等にのみ心を傾け健康を害することなかるべし凡裁縫ハ坐業にして只僅かに腕及指の運動に過ぎず永き間從事するときは消化不良病を起すの恐れあり且前に屈み勝ちとなり早く膝の出る原因即御婆ア三に相成る事故裁縫及讀書等の節は前に屈まざる樣なし又時々氣を拔き戸外に出てゝ適當の運動となるべき用事なり運動なりをなし新鮮の空氣を呼吸せらるべし

又裁縫は大に眼の力を勞する者たるは御承知の通り

なれば晝間は成るべく光線の宜しき處にてなし夜は薄暗き燈火の下にては決して裁縫すべからず若し誤りて針にて指先きを刺すことあらば速に其手當をなさゝれは遂には瘭疽病を發するに至るべし此事に就ては本雜誌に嘗て其手當法を記したれば玆に贅せず兎にも角にも毎度ながら運動は實に必要なり古しへ日本にて美人と稱へしは如何なる女を指すかと云ふに身体痩せて顔の細長く病身然たる所謂肺病的の女を指し健康な强壯なる女は却て卑しき女と唱へたり今試みに我國美人の沿革を記さんに元祿時代の末頃には丸顔を好みたる樣なれども矢張り身体は細りたるを尊びたる事實此時代の浮世繪を見ても知るべきなり然るに今日衛生の道開けし以來は人々皆身体健康强壯ならざれば又强壯なる子供を擧ること能はずとて左程美人ならぬも又遊藝や禮式などを辨へ居らぬも柳腰婀々として云々の支那人の寐言の如き肺病患者の如き者を引受くるは御免候らへ寧ろ活潑にして健康なるを要すと古へと殊なりて体格の壯大强壯なる清々快活として衛生的の婦人を以て美婦人とすされば決して身体の瘦弱を望とすべからず故に眞の美容は健康に由るに非らざれば得る能はず只に白粉紅等を粉裝するの言ひに非ずして衛生法を講ずるにあるなり故に苟も眞正の美人たらんと欲せばます〳〵衛生法を研究して其名稱に負かざらんことを期せらるべし

◎二年間の睡眠

前號には七十五日絶食者の事を記せしが之れは又昏睡者なり去九月廿二日米國インジャナポリス市の通信を見るに同市の中央瘋癲病院に入院中なるペンダーガストと呼へる婦人あり此婦人は入院後昏睡二ケ年餘に及びて醒めたるが其病症に就ては研究問題となれり同婦人は千八百九十年九月より中央瘋癲病

院に入り翌年二月より睡眠を始め爾來間斷なく繼續して本年八月まで其眠を醒まさず去る十八日始めて醒めたり其の醒後醫師の診察に依れば長くも數日を生き延ふる能はさるへしといへり奇病もある者かな

◎肺病患者と年齢の統計

昨二十五年中府下十五區六郡にて肺病に罹り死亡せし人員の年齢を取調べしに左の如し

年別		人員
生兒より五年迄	男	七五
	女	七四
五年より十年迄	男	七五
	女	七三
十年より十五年迄	男	九〇
	女	一二七
十五年より二十年迄	男	二九七
	女	三〇五
二十年より二十五年迄	男	二七九
	女	二八一
廿五年より三十年迄	男	二二三
	女	二四九
三十年より三十五年迄	男	一七九
	女	一五八
卅五年より四十年迄	男	一七五
	女	一五八
四十年より四十五年迄	男	一九三
	女	一二一
四十五年より五十年迄	男	一五七
	女	九〇
五十年より五十五年迄	男	九一
	女	七一
五十五年より六十年迄	男	八七
	女	六二
六十年より六十五年迄	男	七四
	女	三二
六十五年より七十年迄	男	四三
	女	二六
七十年以上	男	三五
	女	三五
計	男	二〇五五
	女	一八六二

群馬縣師範學校にては肺病蔓延の兆さしあるより一時休校して消毒法及同校の大掃除をなしたる上此程生徒寄宿舍内なる寢具一切を式の如く熱氣消毒を施

したるか此際尙病毒を滅却せしむるの決心にて目下北里博士を招聘して消毒法其他の事の指示を受けんと協議中なるやに聞く

◉不衛生と不經濟

◉靑銅鍋に物を焦げ附かせる事
　鍋の錫がはけ銅が交ざり中毒を起す

◉儉約の爲めとて滋養少きものを食すること
　儉約の如くにして儉約にあらす却て藥を飮む

◉臺所の事を總ておさんに打任すこと
　物事無駄多く衛生と經濟との權衡を取り難し

◉家內の不和盛衰は臺所整理の善し惡しによる

◉食物胃に滿つれば學問は腹に入らず

◉日光の這入らぬ家は醫者が入る

◉酒が身体の中へ入れば知惠は德利の中に入る

◉醫師と死亡人との割合

全國醫師の總數は去る廿二年には四万千四百五人、廿三年には四万千八百八人、廿四年には四万二千三百四十八人あり之を人口千に割當つれバ廿二年は一、〇二、廿三年は一、〇二、廿四年は一、〇三なり、又廿二、三、四の三ヶ年間を平均して醫師一人には若干の死亡人を取扱ふ割合なるやを取調ぶれば十九人七八なりと云ふ

◉六種傳染病景況

本年一月より六月に至る全國六種傳染病は患者合計五萬九百十一人死亡一萬五千二十八人にして患者百人に付き死亡二十八人九分七厘の割合なり之を六種に區別すれば

痘瘡	三萬六千三百四十四人	死一萬三百七十六人
腸窒扶私	一萬四十五人	死二千五百四十七人
實布的里亞	三千百十四人	死七百八十八人
赤痢	千二百四十一人	死二百六十二人
發疹窒扶私	百三十人	死三十二人

虎列剌　三十七人　死十五人

◉恐る可き流行病

松江地方にては小兒に一種の流行病あり此病に罹る者は最初恰も風邪の如き發熱を感し間もなく非常の吐瀉をなし一日若くは二日の間に全く絶命するに至ると云ふ

◉赤痢

各地の赤痢は未た消滅に歸せす尙追々流行せる地方あり此際本府の如きも其豫防實に緊要なりとす大日本私立衛生會事務所の門前には赤痢の府縣に蔓延の摸樣を一目して知らしめん爲め其圖を製して大方の注意を惹きたり

◉傳染病患者

東京、大阪の二府及千葉、茨城、愛知、岐阜、福島山形、島根、香川熊本縣に於ける傳染病は

し

東京府　去月三十、三十一の兩日間に屆出の腸窒扶私患者神田區男女各々二人、芝區女二人、赤阪區男一人女二人、四谷區男女各々一人、牛込區女二人、小石川區男女各々二人、本鄕區男四人女一人、本所區男一人、深川區女一人、荏原郡男一人、南葛飾郡男一人、北多摩郡女一人、計二十七人」實布的里亞患者日本橋區女一人、京橋區男一人、四谷區女一人、東多摩郡女一人、南多摩郡男一人計五人赤痢患者神田區男一人、合計三十三人(警視廳)

大阪府　去月二十三日より同二十九日に至る一週間に屆出の腸窒扶私患者四十人死亡九人天然痘患者八人死亡三人實布的里亞患者四人死亡二人（大阪府）

千葉縣　去月二十四日より同三十日に至る一週間に屆出の腸窒扶私患者三十七人死亡八人實布的里亞患者一人(千葉縣)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

茨城縣　去月十六日より同二十二日に至る一週間に屆出の腸窒扶私患者十四人死亡五人「實布的里亞」患者一人死亡一人(茨城縣)　(官報)

●大日本婦人衛生會

去月十四日常會を麹町區富士見町富士見倶樂部に於て開きたり來會する者大凡三十餘名醫學士增田知正君婦人の病に就き諸大家の學說を擧て講述せられ次に醫學士大西秀治君(滋養及胃の養生法に就き食物分拆表を以て)懇篤に說かれ終て午後五時散會せり

廣告

●通常會員高木富子には以後**終身會員**となられたり

●幹事村岡久野子は去月十九日京都へ轉任せられたり氏は永く本會の役員として盡力せられ其功勞實に不尠を以て聊か其謝意を表し且出發の當時は本會よりも新橋迄見送りたり同氏の後任としては

南部隈子

御承諾に相成り以來は幹事の任務に盡力せらるゝ事となりたり

●評議員山縣とも子會員渡邊ふみ子には永らく病床にあられしか去月両氏とも黄泉の客となられたりと痛悼の情禁ずる能はざるなり

●十月中の入退會轉居左の如し

●入會者

●會員曾禰しん子の紹介により

神田今川小路壹町目五番地

通常會員　田中こう子

◉幹事加藤つね子の紹介により
下谷西黒門町十三番地
通常會員　三田わさ子
神田今川小路壹町目三番地
仝　小林せき子
◉評議員大澤作子の紹介により
本郷台町十六番地
吉川みつ子
◉會員菊岡さい子の紹介により
本郷第一醫院
藤江はな子
◉會員淺井梅子の紹介により
白金三光坂町土筆ケ岡養生園
柄原靜子
下谷北稻荷町四十五番地
神羽柳子
◉會員厚東遊喜子の紹介により
赤坂南町二丁目六十六番地
竹中春子
◉會員前川てる子の紹介により
牛込拂方町二十九番地
水町たつ子

◉幹事北澤信子の紹介により
麴町區飯田町六丁目一番地
通常會員　青木とよ子
◉通常會員石川せき子の紹介により
第一醫院
安藝てつ子
◉通常會員塙とせ子の紹介により
第一醫院
田村すゞ子
◉會長土方龜子の紹介により
麴町内幸町官舍
侯爵蜂須賀夫人
麴町永田町
伯爵西鄉夫人
本所新小梅町一番地
侯爵德川夫人
麴町飯田町三丁目十三番地子爵三好夫人
麴町永田町官舍
伯爵大山夫人
芝三田一丁目卅七番地
伯爵黑田夫人
麴町内山下町官舍
伯爵井上夫人
◉通常會員永田操子の紹介により

第二醫院　通常會員　深和文子

◉通常會員林つる子の紹介により

本所龜澤町二丁目三番地磯邊別邸　通常會員　中村たけ子

轉居

赤坂丹後町壹番地へ　小鹿嶋筆子

石川縣へ　三間みわ子

小石川大塚窪町四十三番地へ　高嶺せん子

上六番町十七番地へ　岡村きよ子

上六番町廿六番地へ　橋本ちせ子

本郷四丁目十九番地内山金次郎方へ　塩崎せい子

京橋宗十郎町一番地へ　深堀わい子

大坂市東區島町へ　植村妙子

北海道小樽入船町八十一番地へ　早川しま子

京都市上京新烏丸頭町卅四番地へ　村岡久野子

退會

第一醫院　三浦まさ子

第二醫院　田口つる子

第一醫院　荒川より子

琴平町二番地　關口たま子

芝公園　清岡かく子

赤坂區新町　諫早神代子

正誤

本會雜誌第四十七號に掲載せし挑田てう子は柳田の誤船引みさ子は船曳みさ子の誤第一醫院杉田わか子は第二醫院の誤に就き正誤す

◉地方會員にして**會費未納**の方は**至急**

本會事務所宛御送附被成下度候也

大日本婦人衛生會

專賣特許品

●無毒性おしろい廣告

渡部三吾謹製

試驗報告

東京市京橋區新肴町二番地
依賴人　渡部三吾

第九十五號

◎右衛生上害否鑑定

無毒性おしろい

右試驗の爲め當所に差出したる品は純白色芳香を有する粉末なり之に就て試驗を施行するに鉛及其他有害性物質を見出せず依て本品は化粧料として皮膚に塗敷するも衛生上無害なりとす

明治廿六年五月十日

東京衛生試驗所長
醫學博士　中濱東一郎
試驗主任　山本正己

◎注意 今や賣れ行の繁昌なるをねたみ現に似寄の品を賣るものあり固く二ッ蝶花菱の商標と發明人渡部三吾謹製の文字を御認めの上御購求あらんことを希ふ

本舗　東京本所區横網町二丁目三番地　幾久園

●特約發賣店○東京日本橋區葺屋町四番地ゑり善○同馬喰町一丁目小町水本店平尾贊平○同小石川金富町齡龜德兵衛○同牛込區築土前尾澤良助○大坂市塩町心齋橋筋角東京屋淺田店○此外有名なる小間物店及賣藥店等全國至る所に賣捌所あり

明治二十一年二月二十八日内務省許可

効力證明諸士
侍醫局薬劑官長 薬學士 山田董先生
陸軍一等薬劑官 石塚左玄先生
第一高等中學校教授 薬學士 相川銀次郎先生

すき油びん付の大王
錦香
衛生髪油

改正定價
大金拾五錢　中金拾錢　小金六錢
別製金貳拾五錢　特別製金五拾錢

○此錦香は他のすき油びん付の如き蠟製のものとは雲泥の違ひにて頭髪に最も特効ある薬品のみにて精製せしものなれは他の言葉巧みに文を飾り廣告の力によりて販路をもとむるか如きものと同視す可らす言葉寡く實多きものなり請ふ御試用あらば弊堂が言の虚ならさるを証するに足らん

錦香の効用
●錦香は第一ぬけ毛をとゝめ毛はへのはやきこと春草のもひ出るが如し
●錦香はのぼせを引下けふけを去ること朝日に向ふ霜の如し
●錦香は髪の艶をいだし髪丈けを長くすると夏草の繁茂するが如し
●錦香は洗ふて油あか落易く衣襟をよごさす毛のかたまることなきが故にいつもさら〳〵として洗髪の如し
●錦香は蠟製の油と違ひ寒氣にふるゝもかたまることなくあつさにふるゝともかわり又は腐敗することなし

製造發賣元　東京市日本橋區横山町二丁目十三番地
一朶紅雲本舗　龍文堂鑑製

明治廿六年十一月二日印刷
明治廿六年十一月三日發行

發行所　東京下谷區練塀町四十三番地　大日本私立婦人衛生會
編輯兼發行者　東京牛込區矢來町三番地　田中德三郎
印刷者　神田區小柳町十三番地　小高良造
印刷所　神田旅籠町貳丁目拾一番地　廣業館

明治二十六年四月四日遞信省認可第一金曜日發行　（定價金十錢）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN